

令和元年度独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

契約監視委員会 議事概要

開催日	令和元年6月14日(金)
場所	(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 東京支部 5階会議室
出席委員氏名(敬称略)	委員 竹内 啓博 (公認会計士・税理士)
	委員 藤村 博之 (法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科教授)
	委員 本寺 大志 (コーン・フェリー・ハイグループ株式会社)
	委員 中山 洋 (独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構監事)
	委員 野口 新太郎 (独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構監事)
【審議事項】	
1 競争性のない随意契約	
(1) 平成30年度に契約した競争性のない随意契約の案件について	
(2) 平成30年度に随意契約協議書により点検を実施した令和元年度に履行を開始する競争性のない随意契約の案件について	
2 一者応札・応募の改善	
(1) 平成30年度に契約した調達案件で一者応札・応募となった案件について	
(2) 平成30年度に契約した調達案件で前回に引き続き一者応札・応募となった調達案件(2か年連続一者応札・応募案件)について	
(3) 平成30年度に入札等を実施し、令和元年度に履行開始する調達案件で一者応札・応募となった案件について	
(4) 平成30年度に入札等を実施し、令和元年度に履行開始する調達案件で前回に引き続き一者応札・応募となった案件(2か年連続一者応札・応募案件)について	
3 調達等合理化計画	
(1) 平成30年度調達等合理化計画の自己評価結果について	
(2) 令和元年度調達等合理化計画案について	
【審議の進め方】	
<p>司会進行については、事務局から提案し、各委員了承のもと中山委員に依頼した。はじめに担当部署(経理部契約第一課。以下同じ。)から資料に基づき平成30年度の契約状況等の説明を行った後、契約事由、競争性確保の妥当性等の審議を行い、次に平成30年度調達等合理化計画の自己評価に係る点検、令和元年度調達等合理化計画の策定に係る点検を行った。</p>	

審議の内容等

【審議案件】

1 競争性のない随意契約であった調達案件に関する点検

(1) 平成30年度に契約締結済の調達案件（363件）

担当部署から、随意契約理由の類型に応じて、点検対象となった契約の状況、随意契約となった理由について説明した。

2 一者応札・応募であった調達案件に関する点検

(1) 平成30年度に契約締結済の調達案件（376件）

担当部署から、調達の類型に応じて、点検対象となった調達案件の一者応札・応募等に係る改善措置の状況の説明及び2か年連続一者応札・応募となった調達案件について、案件毎のフォローアップ票（62件）に基づき、2か年連続一者応札・応募となった要因と改善方策について説明した。

3 調達等合理化計画に関する点検

(1) 平成30年度調達等合理化計画の自己評価結果に係る点検

担当部署から、同計画に係る自己評価の取組について説明した。

(2) 令和元年度調達等合理化計画の策定に係る点検

担当部署から、同計画に係る評価指標等について説明した。

主な意見・質問及び回答

【審議事項】

1 競争性のない随意契約であった調達案件に関する点検

＜意見＞ 競争入札を行っても不落や不調といったケースが発生した場合、調達できないリスクが生じる。

不調や不落随意契約となった案件については、発生状況等を分析することを検討して欲しい。

また、工事の調達については重要性の高い場合も想定されるため、不調にならないよう計画的に調達するよう心掛けて欲しい。

2 一者応札・応募であった調達案件に関する点検

＜意見＞ 2か年連続一者応札となったシステム保守・運用管理の調達について、一者応札の改善が困難であることは理解できるが、改善の余地があるものに分類した案件については、システムの刷新等の理由があれば、その理由を明記した方が理解し易い。

＜意見＞ 2か年連続一者応札における全国障害者技能競技大会の会場設営等業務については、毎年度調達するため、改善方策として公告期間の延長ではなく、公告の早期化を図るべきである。

3 調達等合理化計画に関する点検

＜意見＞ 自主点検マニュアルにおける点検シートの項目数が多いとのことだが、あまり多くなりすぎると形骸化して機能しなくなるため、引き続き適正な点検項目の数など精査を行って頂きたい。

＜意見＞ これまでも適正な契約事務手続に努められてきたが、引き続き適正な契約事務手続の実施をお願いする。

【点検の結果】

各委員から、全ての審議案件について、「機構の取組は適切であると認められる。」「機構における改善の取組は妥当である。」との評価を得た。